

タクシー労働者の賃金が、産業の疲弊と共に低下を訴え 愛知運輸支局に意見交換の場の継続を要請

(愛知地連)

2012年04月11日 愛知運輸支局と要請行動を行いました。

4月11日、全自交愛知地連は、東海中立労組協議会や岐阜一般労組他友誼団体と共に、昨年引き続き要請行動を行った。



- ①減休車による賃金改善状況
- ②減休車の非協力的事業者への波及効果
- ③減休車へ非協力的な事業者への対応
- ④低額運賃事業者への重点監査
- ⑤撤退事業者の車両の廃車

以上、五点について申し入れしました。

賃金改善状況については一定の効果が見られるとの評価と共に6月に向けて開催される県内各交通圏のフォローアップ会議に資料として提出出来るよう各事業者への調査を開始しているとの回答があった。

減休車の恩恵が減休車に非協力的な事業者にも及んでいることについては、その不平等性についての認識が示された。又、その中で一部低額運賃事業者が需要の増加を理由に増車申請する可能性を質問したところ、その需要が「新たな需要とは考えていない」との回答があり申請があっても受理しない方向であることを示唆した。

更に撤退事業者の車両が廃車にならないのではタク特措法の精神に反するとの指摘に対しては、心情的には廃車になることが望ましいが法令上は何の問題もなく認可せざるを得ないと苦しい回答となった。非協力的事業者・低額運賃事業者に対する調査・監査は本省の指示により粛々と進められている。対面調査28社の内改善が必要と思われる8社については継続して確認する旨の回答となった。最後にタクシー労働者の賃金が、産業の疲弊と共に低下している窮状を訴え、引き続き意見交換の場を設けることを要請して散会した。

